



# 大規模地震における水道について

環境上下水道課 上下水道係 ☎(83)1227



## 大規模な地震が起きると

道路下などに張り巡らされた水道管が破損する可能性が高く、破損した水道管から水が流出し続けます。

そのため、配水池では緊急遮断弁という装置が作動し、自動的に水の配水が停止します。その後、町で水道管を含む施設の状態などの安全を確認してからの

復旧となります。

これらをご理解いただき、災害時に備え、飲料水の備蓄をしましょう。

※備蓄量の目安は…

▼一人あたり9ℓ

(1日3ℓを3日分)



## 断水になったら

水道メーターに取り付けられた止水栓(バルブ)や給湯器・トイレ専用の止水栓、洗濯機の蛇口を閉め、濁り水の侵入を防ぐことをお勧めします。



メーターの止水栓



トイレの止水栓



## 断水が復旧したら

屋外の単水栓(フィルターなどの無い一般的な蛇口)から水を出す。無い場合は、洗面所や台所の「水」側の蛇口から水を出す。

▼水道管に入り込んだ空気や異物(サビやカルキ)を除去するため、蛇口から透明な水が安定して流れ出るまで、しばらく水を出してください。

※給湯器やトイレなど、水が機器を通るものから使用すると、故障の原因となります。付属の取扱説明書を確認のうえ、ご対応ください。



## 復旧後の水は大丈夫？

**赤く(赤茶色)濁っている場合**

【原因】

水道原水に含まれる鉄分が、長い年月をかけて水道管内にサビとなり堆積しており、急な圧力の変化などで流れ出たため

【解消方法】

透明な水が安定して流れ出るまで水を出す

**白く濁っている場合**

【原因】

地震の振動や水圧の変化などにより、水道水に溶け込んでいる空気が細かい泡となって発生

※飲料水として使用しても害はありません

【解消方法】

時間がたてば(数日かかることもあります)、自然に解消



しばらく出し続けても濁りが消えない、水圧が弱い、といった状況が続くようでしたら、町環境上下水道課へご連絡ください。